令和7年度　「志教育」全体計画

様式1

宮城県古川工業高等学校

校　訓

友愛　誠実　勇気・健康

本校の教育目標

（1）自発的に学び、かつ考え、行動できる個性豊かな人間を育てる。
（2）協同精神を重んじ、平和的な社会の発展を図る創造的な能力の育成と実践的な態度を育てる。
（3）一般教養を高めるとともに、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工業の諸問題を主体的・合理的かつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てる。
（4）工業教育全般を通して、環境問題や安全意識の高揚を図り、望ましい職業観や勤労観を育てる。

生徒の実態、教師の願い

・礼儀正しく、明朗闊達な生徒がほとんどで、就職希望者が6割を超えている。
・日々の時間と生活を大切にし、何事にも意欲的で主体的な学校生活を送って欲しい。

保護者や地域の願い

・地域や日本の社会に貢献できる工業人になって欲しい。
・ルールを遵守するとともに、地域の伝統や文化を重んじ、地域の活性化に尽力して欲しい。

「志教育」の目標

（1）自己理解の深化
（2）職業観・勤労観の確立
（3）将来設計の立案と社会的移行の準備
（4）集団の中での役割と果たすべき責任の自覚

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
適切なコミュニケーションを図り、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、他者と協力・協働して集団生活を送ることができるようにする。	職業人として必要な人間性を養うとともに、生命、自然、ものを大切にする心、規範意識、倫理観等を育成する。また、自己を理解することを援助しながら進路を考える。	地域の一員として豊かな社会づくりに寄与すべく、地域社会の抱える諸問題やニーズに関心を持つとともに、生徒一人一人の創造的な能力の資質を高める。

各教育活動における取組の観点

各教科	主体的な学習態度を身に付けさせるとともに、基礎基本の確実な定着を図ることや、学習意欲を高めるための授業の工夫と問題解決能力を育成する。
道徳	専門教育を通して、工業人としての倫理観や高い規範意識を育て、地域や社会に貢献できる人物を育てる。
総合的な探究の時間	「課題研究」の中で、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を備え専門的な知識や技術を習得するとともに、職業選択について考え、生きる力を養う。
特別活動	生徒会の一員として、生徒会行事や部活動に参加し、組織の中で自己表現を行うとともに、相手の立場も尊重し、お互いが存在を認め合うことで、よりよい人間関係が構築できる能力を育成する。
その他	・環境美化に努めることで、安全で快適な教育環境をつくる資質や能力を育てる。 ・人としての在り方や社会人としてのマナー、責任を身に付け、志を持った人格を形成する。

各学年の取組内容

1年	①　新入生オリエンテーション 校訓、校歌、校則、学校行事、学習内容紹介、部活動紹介、進路ガイダンスなど ②　朝学習・週末課題による基礎基本の定着 ③　進路ガイダンスの開催 ④　職場見学・現場見学 ・工業人としての必要な資質の醸成 ・職業選択の動機付け
2年	①　進路オリエンテーション 2年生での進路スケジュールの概要 ②　朝学習・週末課題による知識の定着 ③　進路ガイダンスの開催 様々な企業や専門学校、大学からの模擬授業 ④　インターンシップの実施 体験学習と自分の適性の把握 ⑤　具体的な進路希望の提出
3年	①　進路ガイダンスの開催 進路希望ごとによる模擬授業と試験対策 ②　三者面談による進路希望の確認 ③　進路別試験対策 ④　面接指導と模擬面接 ⑤　進路希望先の事前見学 ⑥　進路決定先の試験対策

家庭との連携

ＰＴＡ活動、学校評価、古工フリートーキング、授業参観などの機会を通じて、情報交換を図り、将来にわたり工業のスペシャリストとして、社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域･企業との協働

現場見学や工場見学、インターンシップなどの実践的な体験活動を通して、安全意識の高揚を図るとともに、望ましい職業観・勤労観の育成を図る。